

スマートエリアの取組状況について

令和5年10月24日
(福井大学)

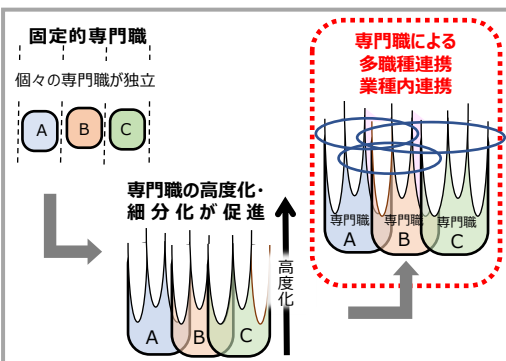
背景・必要性

① 専門職に求められる資質・能力の変化

それぞれが個々の専門知識を持ち合わせる固定的専門職。

高度化する知識・技能の習得にあわせて、絶えず具体的な課題に対峙しながら、異業種と協働できる資質・能力が専門職に求められている。

多職種連携能力の育成が必要不可欠。

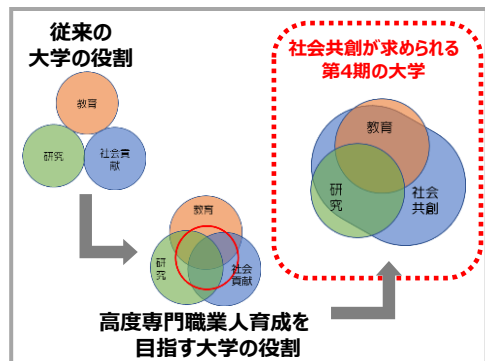


② 地方国立大学の役割の変化

地域特性を踏まえた教育・研究・社会貢献を行う。

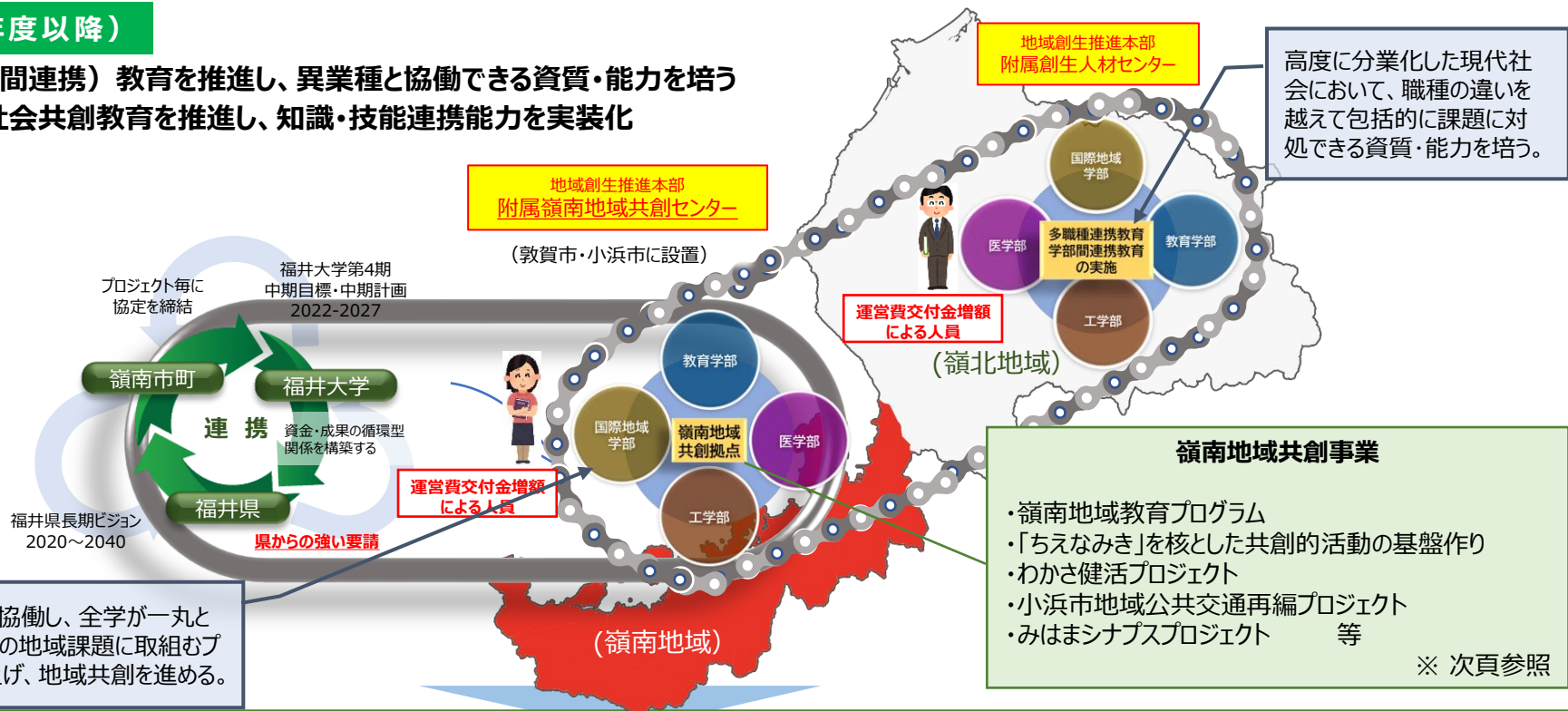
地方国立大学は、社会共創の中核的役割を期待される。

福井県において、嶺南地域での社会共創が最も求められており、福井県・嶺南市町と本学が連携し、包括的に地域課題解決を行うことが必要。



ミッション（令和4年度以降）

- 多職種連携（学部間連携）教育を推進し、異業種と協働できる資質・能力を培う
- 嶺南地域において社会共創教育を推進し、知識・技能連携能力を実装化



嶺南地域において社会共創教育を推進

●敦賀市

- ・障害児等支援者支援事業（受託事業）
- ・公設書店「ちえなみき」を核とした共創的活動の基盤作りに関する研究
- ・デイサービス利用高齢者のサルコペニアの実態把握及び予防方法に関する研究（敦賀市大学研究等支援事業費補助金）
- ・「共読・共育による知の創造とまちづくりの実践」に関する研究（敦賀市大学研究等支援事業費補助金）
- ・福井の昆布文化発信プロジェクト



●若狭町

- ・わかさ健活プロジェクト
- ・若狭町子どもの遊び場整備事業にかかる基本構想（基本計画）の作成及び、実施設計にかかる監修（共同研究）
- ・企業研修型 検診ツーリズム in 熊川



●高浜町

- ・健康のまちづくり
- ・高浜町和田地区公園整備計画（共同研究）

●おおい町

- ・持続可能な地域生活を実現する地域循環共生圏の形成を展望した、おおい町の取組推進と担い手形成の機運醸成のための、地域課題の可視化と地域まちづくりビジョン提案、およびゼロカーボンプラン策定に向けた可能性調査（共同研究）



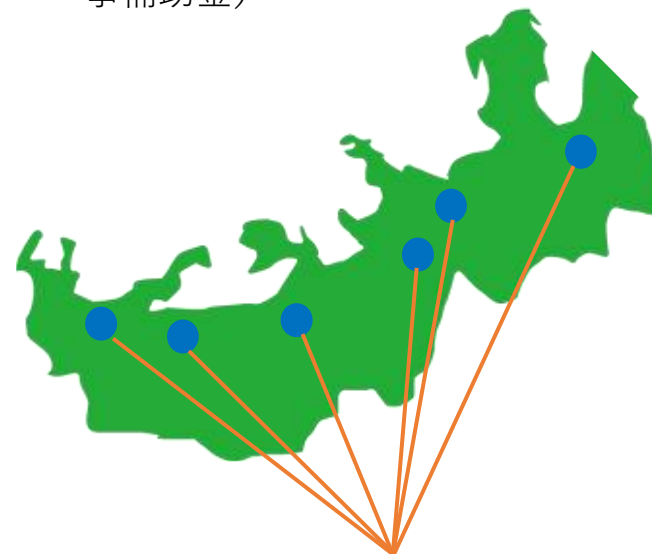
●小浜市

- ・小浜みらいGo膳プロジェクト
- ・小浜市地域公共交通再編プロジェクト



●美浜町

- ・みはまシナプスプロジェクト（共同研究・3件）
- ・データを活用した美浜町の健康課題の分析と解決案の提案（大学連携まちづくりプロジェクト事補助金）



●県教育庁嶺南教育事務所、嶺南2市4町教育委員会

- ・嶺南地域教育プログラム（うち学内公募申請事業2件）

他、学内公募申請事業6件

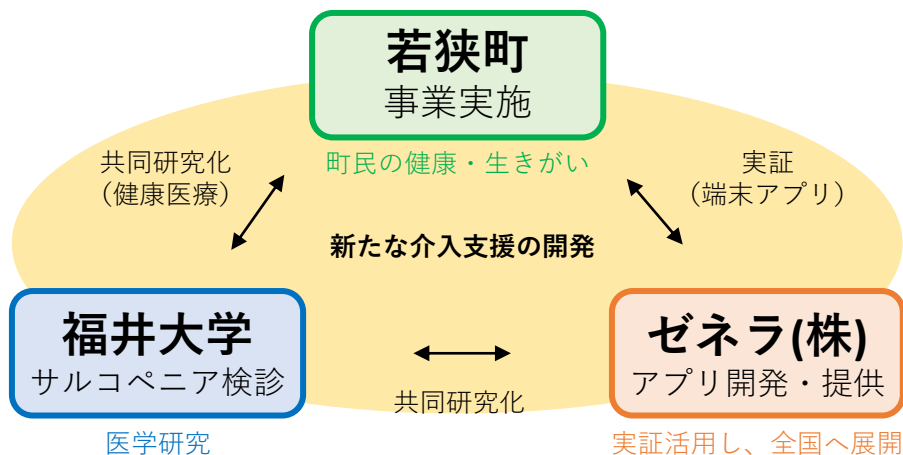
わかさ健活プロジェクト（若狭町）

● 目的

超高齢化と就労世代の減少による介護者不足が進む若狭町において、要介護高齢者の増加抑制は喫緊の課題である。要介護高齢者の抑制にはサルコペニア／フレイル予防の推進が欠かせないため、住民相互の協力による共助型健康支援の実現と、IT/AI技術の併用によってサルコペニアを予防し、高齢者の健康寿命の延伸を図る。

● 概要

福井大学と若狭町が共創して、地域の高齢者を対象にサルコペニア予防検診と保健指導を行い、高齢者の健康づくり活動を支援する。住民の日々の健康づくり活動を支援するための手段として、地域住民による共助型健康支援に取り組む。また、民間事業者（ゼネラ株式会社）による健康支援アプリの開発・活用を進め、フォーマルサービス（行政）、インフォーマルサービス（自治会、ボランティア団体）の連携体制の構築により、地域住民の健康・福祉の増進を図る。



小浜みらいGo膳プロジェクト（小浜市）

● 目的

食事療法は、様々な疾患の治療と深く関わり、個別のメニュー設定が必要である。IH式個別加熱調理システムを用いることで、退院後の個別メニューの提供体制の補完、また在宅患者の自宅での食事療法を継続できる可能性があるため、住民の栄養バランスが改善し、健康寿命の延伸や入院患者数の減少に貢献することが期待される。

● 概要

小浜市後瀬町にある障がい者就労継続支援施設（社会福祉法人つみきハウス：以下、つみきハウス）に個別調理システムを導入し、利用者の健康状態に応じた個別食事メニューを提供する。

本プロジェクトでは、個別調理システムを利用したつみきハウス利用者の栄養状況の推移を半年毎に、本学の地域医療推進講座が実施する健診で評価する。検診では身長、体重、既往症などの基礎情報、生活習慣病、サルコペニア（加齢性筋肉減弱症）などの情報を得て、検診は個別調理システムの導入前後で実施する。

IH式個別加熱調理システムの概要

